

**[3]ラディアン(図書館)に関すること**

No	区分	意見の概要	町の考え方
170	ラディアン(図書館)	ラディアン開館から20年以上が経過し、施設の老朽化や最近のトレンドを鑑みると、リニューアルは妥当な提案だと考えます。 図書館は静かな場所である必要があるという意見もあると思いますが、特定少数の意見に流されないようにしてください。図書館である前に公共施設ですので、できるだけ多くの方に有効に使っていただくための工夫をすることが、町・教育委員会の使命です。本を電子書籍で読むことが当たり前になっている中、「図書を貸し出す」ことだけが図書館の仕事なのでしょうか？専門的な調べものをするための高価な図書などは、是非揃えていただきたいと考える一方で、ベストセラーを貸し出している意味が分かりません。ベストセラーを貸し出すことは、貸本屋にもできます。できるだけ多くの方が図書館を訪れ、(本を読むだけでなく)ゆったりとした時間を過ごすことができるようなスペースへリニューアルを期待しています。	デジタル化の進展により、タブレット等で読書をする人が増えています。また、CDやDVDを購入するより、インターネットを介して音楽や映像を入手することや動画視聴が中心になりつつあり、時代の変化を感じています。一方で、あらゆる人が本に親しめる場や本へ心れるきっかけづくり、多くの方々の居場所となる空間がこれから先の時代には求められています。町づくりに寄せられた中高生やラディアン利用者の声にも応えるため、今回のリニューアルを計画しています。 また、本の選書についても、より多くの方にご利用いただけるよう、利用者ニーズも踏まえ、蔵書につなげていきたいと考えています。
171	ラディアン(図書館)	学習スペース、「おはなしのへや」を学習スペースとの(案)だが2階の学習室を広げるか、2階奥に現在より広い学習室を設け、ティーンズコーナーもその近くか現在の位置で、トイレにも近くて利用しやすい。	【項番170】のとおりです。
172	ラディアン(図書館)	「ワークスペース」について。今や自宅でのリモートワークが定着し、このような狭小空間を、ワークスペースとして活用されるのでしょうか。学生の学習室とするなら、奥まった部屋では、騒ぎやすく放課後のたまり場として格好の場所となる恐れがあり、図書館の機能とは切り離れた施設を設置することが妥当な施策と考えます。団体が活動するのなら、ガラス張りのスペースを使うより、既存の部屋の方が使いやすいように思います。	【項番170】のとおりです。
173	ラディアン(図書館)	図書館の中にワークスペースを作ることに反対です。図書館の外にそうしたスペースを充実させた方がいいと思うからです。図書館を利用する人、ワークスペースを利用する人がお互いに気兼ねなく利用できることが大切だと思います。	【項番170】のとおりです。仕事だけでなく、人々の交流を生むスペースとして、図書館から切り離して整備する計画です。
174	ラディアン(図書館)	学習室・ワークスペースの新たな設置について。学習室については既に図書館2階に設置されており、またラディアンの駅側出入口周辺にも学習者の席や多目的に利用できるテーブルが設置され、中高生など多くの人々に活用されています。これ以上、図書閲覧スペースを削減し、本を楽しみにしている利用者へのサービスを低下させてまで、新たに図書館内に学習室を設置する必要はないと考えます。また、ビジネスでの利用を想定するワークスペースも含め、新たに設置する必要があるならば、今後、建設が予定されている駅前複合施設内に設置すべきであり、そのほうが町内全体の利用者にとってよりアクセスしやすく、利便性が高いと考えます。	【項番170】のとおりです。
175	ラディアン(図書館)	ワークスペースを充実するのであれば今ラディアン入り口にある学習スペースをもう少し居心地の良い場所にすればいい。解放された場所で大きなテーブルを囲んで異なる年代の人たちが集まる現状はとて素晴らしいと思う。ただ、勉強をするには暑すぎる時もあるのでそういったことを改善すれば多額な費用をかけて今あるものを壊して作り直す必要はないと思う。駅前にもワークスペースができるならなおさら図書館の中には必要ないのではないかと。	【項番173】のとおりです。
176	ラディアン(図書館)	図書館通路側壁面の本棚への改修について。(案)では現在の図書館通路側壁面を撤去し、本棚を設置することが示されていますが、これにより開口部が生じます。図書館内の温度管理に影響し、効率的で快適な環境を維持することが難しくなると考えられ、施設管理面でも空調にかかる費用が増大することが予想されます。防音上の問題も大きく、特にホールでのイベント実施時においては、図書館の利用に支障が生ずるおそれがあります。図書館は図書館として独立した環境を整えることが、居心地がよく、滞在性の高い図書館にするために必要なことであり、改修によって、かえって図書館の室内環境が悪化し、居心地の悪い図書館になってしまうことが想定されますので、このようなリニューアルは行うべきではないと考えます。	空調は館内が全館空調のため、ガラスの有り無しの影響はありません。また、図書館の入口の位置を変更することで、防音性についても対応できるよう、建築の専門家である設計者と検討しています。
177	ラディアン(図書館)	幼児・児童コーナーの配置転換について。現在の図書館のレイアウトでは幼児・児童を対象とする区域とその他の利用者の区域を明確に分離し、入口を入ってすぐにそれぞれの区域に分かれる設計になっており、幼児・児童たちと大人たちが動線的に交わることはほとんどなく、子供たちはのびのびと自由に、大人たちは静かな環境でそれぞれ本を楽しむことができている。今回示された(案)では幼児・児童コーナーが2階の閲覧室・学習室の下に移動しており、このプランでは子供たちの声がかかり、2階にいる利用者へ届き、落ち着いた読書環境に支障がでることが想定されます。また、子供たちも大きな声を出すことを抑制され、のびのびと本を楽しむことが出来にくくなり、双方にとってメリットがありません。「本の読み聞かせ」などのイベントを行う際にもあまり大きな声は出せないようになり活動に支障が生じます。少子化対策が社会の大きな課題であり、行政においても今後、これまで以上に子育て世代へのサポートが必要になってきます。図書館においても子供たちを対象としたイベントや子育て中のお母さん方を対象とする事業の必要性が増加していくことが考えられますが、そうした各種事業を展開していくうえでも幼児・児童コーナーは一般の利用者区域とは離れた場所しておくべきであり、現在のレイアウトを変更する必要はないと考えます。	今回は、図書館単体のリニューアルではなく、ラディアン全体のリニューアルになります。新庁舎・駅周辺公共施設再編計画策定時に「あらゆる世代にとって居心地の良い場所」をコンセプトに町民ワークショップ等で議論をしてきました。その中で中学生とのワークショップや高校生へのアンケートを実施し、学習スペース等の居場所を求める声を多く聞きました。これらを踏まえ「武蔵野プレイス」や「シリウス(大和市)」等の先進事例を参考にしながら議会や図書館協議会とともに視察や研究、議論を重ねてまいりました。図書館においては、入館者がピーク時の約40%に減り、貸し出し数も約60%に減少している中で、ワークショップ等の声を踏まえて検討したものであり、リニューアルに期待する声も届いています。 図書館は、公共施設であることから、より多くの方々の利用を促進するとともに居心地の良い空間を提供するべきと考えています。だからと言って「こどものほんコーナー」を無くすのではなく、より利用しやすいように専門家の意見を踏まえ機能を整理して、今回の案を策定しています。おはなし会等のイベント開催スペースや防音性、靴を脱いで上げられるスペースについても心配の声を多くいただいていますので、引き続き検討し、実施設計に活かしていきます。
178	ラディアン(図書館)	「通路・壁面ガラス・本棚」について。町民が行き交い、自由に談話する場として、通路・ラウンジをこのまま確保していただきたい。児童室と通路を隔てるガラスは、読書を楽しむ親子の安心安全を守り、貴重な図書・地域史料を守る防犯上も、館外からの騒音を遮断する上でも必要不可欠です。天井までの書架は、実用性が無く、単なる装飾に過ぎない棚にコストをかけることは無用と考えます。	【項番176、177】のとおりです。BDS(セキュリティシステム)の位置等については、再検討し、実施設計に活かしていきます。
179	ラディアン(図書館)	通路と児童コーナーを素通しのガラスでつなぐ開かれた空間をこわさないでほしいと思います。	【項番177】のとおりです。
180	ラディアン(全体)	モールを仕切っているガラスをなくして開放的な書架になっていますが、ほんの管理は大丈夫でしょうか？これでは悪気がなくてもカウンターを通さず本を持ち帰ることが急増するでしょう。また騒音の問題もあります。今の状態でさえ図書館の扉が開くと2階にまで音が響くと聞きます。	【項番177、178】のとおりです。
181	ラディアン(図書館)	図書館とラディアン通路の壁が双方から本が取れるようなデザインになっているようだが本の盗難が心配だし空調の効果が落ちてしまえそう。こちらも現状のままでもいいのでは。無駄なく今のまま使えるものは使って見栄えだけのための出費は抑えて欲しい。よろしくお願いします。	【項番176、177、178】のとおりです。書架については、既存の書架を極力使用していく考えです。
182	ラディアン(図書館)	「児童コーナー」について。「おはなしの部屋」は、子どもが本の世界に入り、集中を妨げられることなく楽しめるよう、これまで通り閉じられた空間であることが望ましく、既に理想的な空間として広く認知されています。親子で本を楽しむことから始まり、ひとり読みの時期まで、無理なく安心して過ごせるようにつくられた「おはなしの部屋」と「児童コーナー」は、現況のままでも十分に価値があります。今後も、この空間で、読み聞かせ・ブックトーク・ビブリオバトル・読書会・小学生見学学習など様々な読書活動に有効活用されるなら、利用者は更に拡大されることが期待できるでしょう。	【項番177、178】のとおりです。これまでのこどものほんコーナーの良いところ、雰囲気を引き継いでいきたいと考えています。
183	ラディアン(図書館)	児童・幼児スペース。一見して優しそうだが、幼児に必要なトイレ設備が無い。図書室はプレイルームではない、現在の「おはなしのへや」は、利用しやすく児童用トイレも間近に備えているので安心して利用できる。現在の児童・幼児コーナーは独立しており、児童幼児、保護者も静かで安心して利用できる。現状を維持してほしい。	【項番177、178】のとおりです。こどものほんコーナーのトイレについては、現状の課題に対応するため、変更を行っていきます。【項番196】もご参照ください。
184	ラディアン(図書館)	こどものコーナーは、現状を維持していただきたいと強く思います。理由としては全体が明るく、十分なスペースと落ち着いて親子で過ごせる場所だと感じるからです。子どものコーナーを見て気に入る、二宮町に引っ越してきた方がいると聞いています。それほど魅力のあるコーナーになっているのではないのでしょうか。子どもが少なくなつて、あまり使われていないのではないかと意見が入りましたが、そこで子どものスペースを削るのではなく、これから若い人たちが二宮町で暮らし子育てしていくことを将来に見据えて施設づくりをしていくことが大事のように思います。	【項番177、178、182】のとおりです。レイアウト変更により位置は変更になりますが、これから利用する子育て世代、子どもたちが利用しやすいコーナーとしていきたいと考えています。
185	ラディアン(図書館)	図書館の児童書コーナーを変えないで欲しい。天井の補修が必要ならばその工事をして現状のレイアウトを残して欲しい。広さ、本棚の高さ、見通しの良さなど子育てをしている親にはとても安心で居心地の良い場所。	【項番177、178、182】のとおりです。終了した視聴ブース(AVコーナー)の跡地を有効利用する点からも、今回レイアウト変更を行う計画です。
186	ラディアン(図書館)	図書館の子どものコーナーはスペースが狭くなってしまうのでしょうか？少し声を出しても大丈夫なつくりにして欲しいです。	児童・幼児スペースの面積としては現在と同等の面積になっています。また、防音対策については、吸音パネルを兼ねた装飾や書架を兼ねた壁により、他フロアへの声の響きを和らげることを検討しています。
187	ラディアン(図書館)	ラディアンの児童・幼児コーナーは子供の泣き声・大声を許容するスペースにして下さい。コーナーを作っても子どもが自由にいられないスペースだと親が気を遣って気楽に過ごせず、結果的に子どもを連れていけないスペースになると思います。子どもがうるさくても周りの人が嫌な顔をしなくていい空間に是非して下さい。	防音性については、ホールイベント開催時の課題や、こどものほんコーナーの音について、建築の専門家である設計者と何度も検討した結果によるものですが、引き続き検討したいと思います。
188	ラディアン(図書館)	木漏れ日の落ちる子どもの学び空間について。靴を脱いで上がる部分を細長くとしているが2段にするより1段にしてその分広さを確保して頂きたいです。赤ちゃんが他の大きい子どもと靴を脱ぐところで独占するのは心配です。赤ちゃんがお母さんと安心して過ごせる独立した空間が欲しいです。おはなし会も正方形の集まれる空間にして(細長いと端の子は見にくい)ストーリーテリングなど集中力を必要とするものもあるのでおはなし会の時だけ囲えるようにはできないでしょうか。	設計プランへの詳細についてのご意見として賜り実施設計に活かしていきます。こどものほんコーナーについては、【項番177・182】もご参照ください。
189	ラディアン(図書館)	「子どもの学び空間」について。階段ステップフロアは、乳幼児には転倒の危険があり、親は目を離さず、安心して寛げません。不自然な大木の装飾は、「学びの場」に相応しいとは言えず、公共の場に、寝転がスペースも相応しくないでしょう。ラディアンを地域の書斎とするならば、ここに読書のためのゆったりとした閲覧スペースを配置してはいいかがでしょうか。	設計プランへの詳細についてのご意見として賜り実施設計に活かしていきます。こどものほんコーナーについては、【項番177・182】もご参照ください。

No	区分	意見の概要	町の考え方
190	ラディアン (図書館)	親子で集う学びの舞台について。段床形式の書架は見にくく危険。段床形式以外の書架にした時に収納冊数が減ることが心配。今より減らすことは絶対に避けて欲しいです。子どもの空間が大人の空間(2階)と近くなることで防音対策は不可欠だと思いますがこの図ではそれが示されていないので十分な説明をお願いしたいです。	ご意見として賜りました。なお、防音対策については、吸音パネルを兼ねた装飾や書架を兼ねた壁により、他のフロアへの声の響きを和らげることを検討しています。
191	ラディアン (図書館)	階段脇「段床形式書架」について。書架上に座し、よじ登り踏むような姿は、教育的配慮に欠けます。人が座っている棚の本は取り出しにくく、利便性・安全面・衛生面からも実用的ではないでしょう。	設計プランへの詳細についてのご意見として賜り実施設計に活かしていきます。こどものほんコーナーについては、【項番177・182】もご参照ください。
192	ラディアン (図書館)	「課題：図書館の利用者減少」について。図書館が有効活用されるためには、利用者を満足させる選り抜かれた資料があること、そのための司書がいること、館内だけでなく学校や高齢者施設等、様々な場で、司書が町民と本を繋ぐための活動を充分にできる環境を整えることが、何よりも優先されるべき課題ではないでしょうか。	【項番177】のとおりです。図書館のあり方についてはご意見として賜りました。
193	ラディアン (図書館)	「ラディアンモール」等での本の閲覧について。基本設計(案)ではラディアン全体を図書館とみなし、ラディアン内であればどこでも本を読めることとする計画が示されています。ラディアン出入口にセキュリティシステムを導入する計画ですが、実効性のあるシステムとなるのか大変疑問であり、施設外への持ち出しを防ぐことは大変難しく、管理する職員側にとってもこれまで以上に大きな負担が生じることは明らかであり、管理上大きな問題が生ずるこのような取り扱いの変更は行うべきではないと考えます。本は貴重な町の財産であり、大切な保管管理が必要です。安全性のリスクを冒してまで利用区域を広げる必要はなく、現在と同様、閲覧は図書館内とし、ラディアン内のベンチ等で読書するのであれば、正規の貸し出し手続きを行ったうえで読書すべきであると考えます。	現在の図書館の管理状況や、他市町の事例を参考にしつつ今回のプランを作成しました。本の管理を重視するのではなく、のびのびと本に親しんでほしい、気軽に本にふれてほしいという考えを重視していますが、いただいたご意見を参考に、BDS(セキュリティシステム)配置位置等については再検討し、実施設計に活かしていきます。
194	ラディアン (図書館)	書庫について。リニューアルの中で書庫については全くふれられていませんが、現状はどうなのですか。随分前に「手狭になっている」と聞いていますが、この際増設する必要はないのですか。少なくとも20年、30年は大丈夫なのですか？書庫は図書の新陳代謝を図るとも重要なところだと聞いています。	書庫の増設は考えていません。蔵書については、電子化もふまえて整理のうえ、適正管理に努めてまいります。
195	ラディアン (図書館)	ラディアン南口、左右にあるコーナーは、大きなテーブル、丸いテーブル、いす、コーヒーや飲み物、パンなどの自動販売機などが置いてあり、気軽に立ち寄れる場所になっています。おしゃべりしたり、勉強したり、打ち合わせをしたりと年齢に関係なくフラットと寄って自由に利用できます。様々な交流が生まれるところだと思っています。続けて活用できるスペースにしてほしいと思います。	交流スペースとして、より機能が高まるように実施設計へ活かしてまいります。
196	ラディアン (全体)	コワーキングスペースを児童コーナーを移してまであの場所に設置する必要を感じません。リニューアル案では囲まれたおはなしの部屋がなく、おはなし会を同じように続けることが困難です。ストーリーテリングやブックパネルシアター、影絵、ペープサートなど子どもを本の世界に導いてきた出し物を行えません。収納スペースも必須です。中途半端な段差は危険があり、靴を脱いで子どもを膝に抱いて読み聞かせをしたり、赤ちゃんが安全にはいはいする場所もありません。子どもトイレがないのは本当に不便です。ラディアン建設時、企画学習会議の提言で切にお願いして実現した子どもトイレです。(本来は親子トイレを希望していました)段床形式の書架は小さい子にとってはとても危険です。また座っている人がいてはその下の本を利用するのに不都合です。源左の児童コーナーは奥まった場所にあり騒音の心配もなく、子どもと自由に過ごすことができます。あのスペースで現在の本をすべて収納することはできるのでしょうか？目先の新しさではなく、現在の、そして未来の利用者(子どもたち)の立場にたった改修をお願いします。	【項番177】のとおりです。現在の子どもトイレについては、職員の目が届かないこともあり、過去にはいたずらの事案もあり、音漏れ等の課題もありました。当初は新しい位置に、親子トイレの設置を検討していましたが、地下収蔵庫との位置関係による排水経路の確保や増築が難しく断念した経緯があります。現在のみんなのトイレをより使いやすくすること、現在のコインロッカーを授乳室に改修することで対応することとしました。なお、こどものほんコーナーの本の冊数は同程度を確保する予定です。
197	ラディアン (図書館)	現在の図書館レイアウトを変えないでほしい。入口を入って右手に児童コーナー、その奥に赤ちゃんコーナーと配置されていることで、親子でゆったりとまた少し騒いでも大人の目を気にすることなく、読み聞かせしたり、読書したりすることができている。ガラス張りで見渡せるのも良い、子どもトイレが近くにあることも助かっている。カウンター奥に壁を作り、狭い空間に追いやるのはやめてほしい。おはなし会活動するスペースも収納もなくなってしまいます。児童図書が収まることも思いません。モールをオープンにして本棚にするのも危険がいつぱい、本の貸出手続きをせず、館内どこでも自由に本を持ち出して読書するのは、防犯上無理だと思う。図書館が閉まっている時間も自由に出入りできてしまうということか？防犯カメラを付けても盗難はおきますし、ご自由にどうぞのつもりですか？オープンにすることで空調費も増えることになります。図書購入費や人件費を減らしているのに、職員の間も行き届かない。館内の修繕費が主ではあるが、税金を使って無駄なリフォームまでする必要を感じません。コワーキングスペースもラディアン内には、今の南入り口のスペースで充分だと思えます。段床のある本棚も危険で実用的ではありません。図書館は、図書館としての目的で利用されるのが理想であり、入館者を増やすためのリニューアルには反対です。とりえず声を聞くという形ではなく、現場の声を聞いてほしいと思います。	【項番176、177、193】のとおりです。設計プランへの詳細については、ご意見として賜り実施設計に活かしていきます。
198	ラディアン (全体)	ラディアン「図書館部分」の具体的なレイアウトについては、二宮町図書館の今までの利用状況の分析とこれからの二宮町の5年10年先を見据えた上での運営計画に基づいて十分に検討し進めたいと考えています。良い運営が続いてきた図書館が今後も各世代が有意義に利用できるようにレイアウトを検討して欲しいと思います。そのために図書館のボランティア、利用者の意見も聞いて欲しいと思います。各スペースについては、下記のことを望みます。 ・幼児・児童コーナー。児童コーナーを囲んでいる壁の部分はなく、または、壁をガラスにするなどして、幼児・児童コーナーがオープンで広く使えるようにした方が、書架を十分に配置でき、外からも見えて魅力的で入りたくなるような雰囲気になると考えます。斬新なデザインよりも長く利用できるように使いやすさを優先した方が良いと考えます。音が2階に響くことについては、児童コーナーの天井に遮音対策するなど工夫できるのではないかと思います。幼児・児童コーナーは、赤ちゃん絵本から幼児の絵本、児童の各分野の本に成長とともに自然と移っていくことができるような連続した書架の配置を望みます。 ・モールからの入り口と雑誌新聞ティーンズコーナー。モールとの境目に入り口となる書架が配置される形の現在の案では管理も利用もしにくいので、十分な検討が必要と考えます。雑誌新聞ティーンズコーナーは、いままで利用やこれからの運営を考えたような目的の場所とするのかをはっきりとしたうえで資料の選書と書架や椅子テーブルの配置が必要と考えます。 ・親子トイレ、授乳室。親子トイレ、授乳室については子育て中の保護者の意見を生かして欲しいと考えます。 ・本の紛失。自由に本を手にとることができることは、良いと考えますが、県道沿いの入り口は、防犯カメラを付けても紛失は防ぎきれないと思われるので、対策が必要と考えます。	【項番176、177、193】のとおりです。設計プランへの詳細については、ご意見として賜り実施設計に活かしていきます。
199	ラディアン (図書館)	生涯学習センターリニューアル基本設計の策定について。(案)は基本設計業務委託の段階で既に図書館1階南側部分についてはラウンジスペースとして図書館エリアから除外し、「幼児・児童コーナー」は移動させることを前提として、基本設計を行うことが「基本設計業務仕様書」により、指示されています。このような指示に基づく(案)は町民との合意形成がなされないまま、町民各層の意向を正しく反映しておらず、町の一方的な考え方に基づく(案)となってしまう。町は業務を発注する前の段階において、図書館、生涯学習センターの利用者を含む、町民各層から、望ましいラディアンのリニューアルについての要望を丁寧に収集し、図書館専門家や社会教育専門家等の意見も聴取したうえで、将来に向けての施設整備のあり方を定め、そのような考え方をもとに業務委託の発注を行うべきであったと思います。町の財政状況も厳しいなか、高額な町民の税金を投入して、リニューアルを行うのであれば、それぐらい事前準備に時間をかけて、町民全体の利益が向上するようなリニューアル基本設計を実施するべきであったと思います。町民各層の意向を踏まえたうえで基本設計を策定するため、図書館専門家、社会教育専門家、公共施設マネジメントの専門家、小学校教職員、中学校教職員などを構成メンバーとする「生涯学習センター」リニューアル基本設計検討委員会を立ち上げ、今回のパブリックコメントの意見とこれまで町が実施してきた各種アンケート調査などの意見も参考にしながら、「検討委員会」において、基本設計への提言をとりまとめ、その提言を反映させた生涯学習センターリニューアル基本設計を策定するべきであると考えます。	【項番177】のとおりです。これまでの議論を元に、さらに図書館協議会や社会教育委員会会議で議論を重ねて検討してまいりました。
200	ラディアン (図書館)	大きく変わる児童・幼児コーナーについて。人と人、人と本をつなぐとても大切なテーマであり、図書館の持つ役割だと思えます。特に児童コーナーは、長年子どもだけではなく親御さんにも愛されてきました。子どもたちが自然に振る舞い、親御さんも安心して過ごせ話せる場所、たくさん本に出会える、同じような世代の子と共に楽しめる空間はラディアンの中で唯一とっていいでしょう。ここが現在のビデオ・CDコーナーに移るといことですが、あれだけの児童図書が入るのですが、図書館の設計図やイメージパースをよく見てもできるようなには思えません。	【項番170、177、186、196】のとおりです。
201	ラディアン (図書館)	カウンター前も児童幼児コーナーになっています。図書の貸出し、返却、レファレンス、エレベーターを使う人など様々な人の動きがあり干渉し合うところです。どの図書館でもきちっとスペースをとっていますが、どのように考えているのですか。	カウンター前のスペースは児童・幼児スペースに位置づけておりますが、動線については、書架の配置などにより混乱が生じないように工夫してまいります。また、自動貸出・返却のシステムも導入する計画です。
202	ラディアン (図書館)	子どもたちの声が上に響き、2階で読書している人の妨げになりませんか。	【項番190】のとおりです。
203	ラディアン (図書館)	「おはなしの部屋」どうなるのですか。ある程度囲まれた所が必要です。	児童・幼児コーナーに『木漏れ日の落ちる子どもの学び空間』を設け、大木に見立てた柱の周囲に子どもたちが座って集まれる設えとすることを計画しています。書架を兼ねた壁により、他フロアから様子が伺えつつも区分されている空間とする予定です。

No	区分	意見の概要	町の考え方
204	ラディアン(図書館)	児童・幼児用のトイレは利用しやすく、安心・安全の面からも近くにあることが必須だと思いますが、これがなくなるのですか。	【項番196】のとおりです。
205	ラディアン(図書館)	p14の「親子で集う学びの舞台」では、新しくつくる壁で児童・幼児のスペースを区切っていますが、何のためですか。親子(複数)で来た場合、親の視野に入らない所が出てきます。書架作りも利用面、安全面から見て問題があるように思います。	こどものほんコーナーで、子ども達への読み聞かせを行ったり、子どもたちがゆったりと過ごせるよう、吸音パネルを兼ねた装飾や書架を兼ねた壁により区切っています。ご意見として賜り実施設計に活かしていきます。
206	ラディアン(図書館)	2階にあるティーンズコーナーが下に移っていますが、①p15で示された場所に蔵書が入りきるのですか。それとも2階と分かれて2ヶ所になるのですか。	ティーンズコーナーは1階に移す計画です。書架の配置の詳細は、引き続き検討してまいります。現在から大きく減らす予定はありません。
207	ラディアン(図書館)	学習コーナーは駅近くにもできると聞いています。現在ある2階のスペースと南口にもスペースがあるのでやはり上記にあるような児童コーナーを壊してまで作る必要はないと思います。	【項番170】のとおりです。
208	ラディアン(図書館)	雑誌・新聞コーナーも移るわけですが、狭くなり人の動線上になるので、今のように落ち着いて読める場所になるのでしょうか。	利用者が落ち着いて本を読める場所となるよう、什器の配置などを検討してまいります。
209	ラディアン(図書館)	モールとの間にあるガラスを取っ払ってp14の図Aにあるような書架を設置するとのことですが、本の盗難のことに関してはどのような手立てを取るのですか。(BDSのことは承知しています)	原則的には防犯カメラや自動貸出機を適切に配置することで性善説に基づく管理を考えていますが、BDS(セキュリティシステム)の設置場所については、管理を強化する方向で再検討し、実施設計に活かしていきます。
210	ラディアン(図書館)	イメージパースの中に天井近くにもほんが置いてありますが、利用できるのですか。	書架の配置については、全体のレイアウトの中で引き続き検討してまいります。
211	ラディアン(図書館)	ホールのホワイエにも閲覧スペースを設けるそうですが、わざわざ2階まで行って利用する人はいるのでしょうか。これも離れているので管理が大変なのは。	ホワイエの開放の有無については再オープン後、ホール等の利用状況等を踏まえた上で再度検討したいと思います。
212	ラディアン(図書館)	ラディアンは開いているけれど図書館は閉まっている。こういう時は司書のいない図書館に自由に入出入りできるということですか。以上のような点から見て疑問とするところが多く、図書館の作り替えは必要ないと考えます。	図書館の開館時間については、変更する予定はありません。職員のいない時間帯の防犯・管理については、BDS(セキュリティシステム)の位置等について再検討し、実施設計に活かしていきます。図書館部分と自由に入出入りできる部分については、仕切りや区分けを検討します。
213	ラディアン(図書館)	日ごろ人影の少ない子どもの本コーナーだが、昨今の不審者の次案などを鑑みると、常にみんなに見られているスペースに子どもを置いておくことに不安があるのかもしれない。カウンターがあるが職員がいないので、今回の新しい提案のように、子ども達が安心してくつろげるよう、ある程度困ってあげた上で、職員の方の目が届きやすい(不審者が侵入しにくい)位置に配置するアイデアであれば、安心して子どもを遊ばせることができると思う。願わくば、職員の方を配置して子どもが遊んでいる間に、親が本を選ぶ時間を確保できるようにすると、なお良いと思う。	【項番177】のとおりです。今回の計画では、こどものほんコーナーに職員の方が目が行きやすくなっており、セキュリティは向上します。職員の配置については、今後検討してまいります。
214	ラディアン(図書館)	現状は人の手が足りず、子どものコーナーにもカウンターはあっても人を配置する余裕がないと聞いています。やはり、良い施設にするには人の手が必要だと思います。改修を見直し、人件費へ予算を回していただきたいと思っています。	【項番177】のとおりです。
215	ラディアン(図書館)	図書館は、他の施設との一体化を提示しているが、蔵書等管理上に問題を生じる恐れがある。ラディアン内とはいえ、どこへでも持ち出せるのでは、蔵書・資料等の流出や散逸、置き去り、汚損など乱雑となりかねない。管理する方々の意見を充分尊重されたい。エントランスホール・ラディアンモールでは、様々な催しもあり町民に限らず外部からの出入りも多量。開口部を広く設けたりせず、図書館は独立した形が望ましい。	【項番177、178】のとおりです。
216	ラディアン(図書館)	ラディアンの図書館はいろんな本があって行くのが楽しみなので、新しくなったらうれしい。家族と行くのにカフェみたいな所があると長くいれるのでうれしい。	町民サービス向上のため、計画に沿って進めてまいります。
217	ラディアン(図書館)	市民サービス(ギャラリー隣)の場所は、以前のように飲食、リフレッシュコーナーにもしたらどうかと思います。	コンビニ機能などを検討していましたが、事業性が厳しい見込みです。引き続き有効な活用方法について再度検討したいと思います。
218	ラディアン(図書館)	ADコーナーがありません、利用者に拘らず無くして良いものでしょうか？	図書館1階の視聴ブース(AVコーナー)は、サブスクリプションサービス等の普及もあって利用者が減るとともに機器の故障やソフトの劣化により視聴サービスの提供が困難となったことから、令和5年9月に映像ブース・リスニングブースともに利用を終了いたしました。今後、既存のCD・DVDの貸出は行いますが、視聴ブースを復活することはありません。
219	ラディアン(図書館)	図書館内に自販機コーナーを設けるのは如何なものでしょうか？	【項番177】のとおりです。ラディアン全体を図書館としても活用できるようにするため、図書館内でも飲み物も飲むことができるようにすることを想定しています。
220	ラディアン(全体)	先ず一番に現在の図書館に大変満足していることを言いたい。ラディアンができたときに、玄関口に入り、明るく広く広がる児童コーナーを見たときの感動は今でも忘れられない。いかに子供を大切に考えているか、教育に重きを置いているかが伝わり、誇らしくさえ思った。その後も町外から来られた方々に羨ましがられ嬉しくも感じてきた。ラディアンリニューアルを聞いて、色々老朽化してきているから、それはありがたいと思っていたが、企画案を見た時に愕然としてしまった。なぜ児童コーナーがあんなに隅のほうへ押しやられてしまうのか？子供のトイレまで壊されてしまうのか？図書館の入り口付近のアーチ型の棚は何なのか？コワーキングスペースはこの場所にひつつか？町は何処に重点を置こうとしているのだろうか？若い子育て世代を呼び寄せたいのではないのか？エントランスのモールでは、老若男女色々な世代の人たちが集い、時間によってそれぞれの世代の憩いの場として有効に活用されている。中学生の孫などは学習にはもちろん、疲れると友人とゲームをしたりできるこの場所を気に入っている。若い友人は、ほかの利用客に気兼ねすることなくのびのび過ごせる児童コーナーを気に入って、この町に移住を決めたといっていた。そんな町民に愛された場所を壊し、庁舎を建設するだけでも多額の借金をしなければならぬ町が、そこまでのリニューアルにまでお金をかける必要があるのだろうか？次の世代に繋げるべきは借金なのか？老朽化した箇所の修繕は必須だが、若い人向けのコワーキングスペースを作ることを考えたいのだったら、それほどお金をかけずに、図書館1階奥の児童コーナーにしようとしている部分を活用することを考えてみては？と提案したい。あの場所は今後、庁舎からまっすぐ来られる通路と繋がる場所になるし、外からアクセスしやすい。また広さも十分にあるし、おまけに静かだ。エントランスのモールも、もう少し机を増やし、自動販売機を増やすなど整備すれば十分町民の憩いの場になると思う。町民がくつろいでいる雑誌コーナーにも目を向けてほしい。今、とてもいい空間になっています。	【項番177】のとおりです。学習やコワーキングスペースを求める声は、中学生や高校生等、若い方から多くの声をいただいています。この空間を十分確保しつつ、閉館の22時まで利用できるようにすることを今回のコンセプトとしています。
221	ラディアン(図書館)	二宮町図書館の顔でもある子どもスペースの移設は何故必要なのでしょう？子どもスペースが魅力的で二宮に引越して来られた方も居ます。図書館とは本来静かな空間でゆったりと読書を楽しんだり、調べ物に集中出来る場所であるべきです。最近ではシリウスのようなオープンな場所もありますが、そのような建物は設計段階から検討を重ねて作られた物です。今からの改修で同等の機能を求めるのは無理があります。ラディアンは当初から複合施設であり、それぞれ使用目的が違います。ホールと隣接しているため、ホールでイベントがある場合オープンにするとホールのお客様方の影響を受けます。現在入口の位置が向かい合っているのを変更するのは不可欠だと思いますが、それ以上の変更は必要ないと考えます。高い書架を設置するのは危険が伴うのと、人手不足の職員さんの手を借りなければなりません。必要あるのでしょうか？子どもスペースが現在の位置にあるのはとても意味があります。改修案の位置に移動した場合、子どもの声は通るので、どうしても声が、館全体2階にも響きます。現在の静かな空間を楽しんでいる方に影響が出るのは間違いありません。あえてそのような環境に変える事に意義があるのでしょうか？子育ての町を推進して行くのであれば現状のままであるべきです。エントランス部分の改修をすれば使い易さも出るはず。ワーキングスペースについては駅近にも施設を作るとも聞いています。そちらの利用が増えるのではないのでしょうか？図書館の改修は入口の移設のみにとどめるべきです。それ以外の改修案には全く意味を認められません。大金を掛けてする本当に必要な改修なのか熟考頂き再度検討してくださいよう切望いたします。	【項番177】のとおりです。設計プランへの詳細については、ご意見として賜りました。
222	ラディアン(図書館)	最近の本離れが進んでいる子供たちが行きたくなる空間づくりが出来ていると思いきやワクワクします。セキュリティ等の面での不安要素は若干あるかと思いますが、それよりもまずは図書館に行きたくなる雰囲気作りが一番大切だと思いますので非常に良い設計だと思います。今は、中学生が図書館外の机で勉強等している姿が見受けられますが、リニューアル後は勉強スペースも大幅に拡充出来るのでありがたいと思います。	【項番177】のとおりです。
223	ラディアン(図書館)	現在の図書館はとても落ち着いた雰囲気ですし、カウンター前で雑誌や新聞を読んでいる人たちもくつろいでいるように見えます。良いところはそのままに、改善すべきところは図書館で働く人や利用者の意見を聞きながら進めていただきたいと切に願います。	【項番177】のとおりです。様々な視点がありますが、これからの時代変化を見据えてリニューアルしていきたいと考えています。
224	ラディアン(図書館)	今の図書館の現状を見ると、子どもスペースを有意義に使っているなど、リニューアルする必要が無いのではと思えます。もっと積極的に町民にアピールして、使用する人、働く人の意見を聞き上げて欲しいです。	【項番177】のとおりです。
225	ラディアン(図書館)	モール側の本棚は必要ない(他館で有効であっても二宮ではどうか、維持するための人手も必要になる。)児童室奥のおはなしの部屋は残し、その延長線上は児童コーナーとし、おはなしの部屋の脇にコワーキングスペースとする。雑誌コーナーも現在の位置でよく、児童・幼児スペースの予定になっている部分を新聞・雑誌・ティーンズコーナーとし、ふれあいの場としてゆったりとした空間を残してもらいたいと思います。入口からエレベーターへの動線もスムーズになると思います。	【項番177】のとおりです。設計プランへの詳細については、ご意見として賜りました。

No	区分	意見の概要	町の考え方
226	ラディアン (図書館)	図書館のリニューアルは本当に必要なのでしょうか？これからの二宮町が住み良くて元気な町でいられるためには、子育て世代をどんどん二宮町にむかえ入れるべきだと思います。小さい子どもを持つ親子が毎日のように訪れて、本に囲まれた時間を過ごしながら成長していったら、本当に素敵だと思います。現状なら子どもの泣き声などにも気にならない場所にあります。なので、ぜひ、現状を維持していただきたいと思いますが、二宮町に本屋が無くなった今、図書館の存在は貴重です。単に来館者数を増やすことを目指すのではなく、10年後、20年後の二宮町を見据えてどのような人たちが二宮町を盛り上げられるかをぜひ、考えて、お金を使っていただきたいと思います。	【項番177】のとおりです。
227	ラディアン (全体)	ラディアンの老朽化や耐震に対する改修は必要ですが財政も苦しい中大幅なリニューアルをする必要を感じません。入館者の減少は電子図書の普及による読書環境の変化や新型コロナによる外出制限など、二宮に限ったことではないと思います。加えて開館当初に比べて格段に少なくなっている資料費の影響が大きいと考えます。リニューアルすれば最初は入館者も増えるでしょうが、果たして利用しやすい施設といえるのでしょうか？モールのフリースペースは予約もいらず、待ち合わせやちょっとした打ち合わせ、勉強、遊びなど、曜日や時間により子どもから大人まで誰でも自由な形で利用できる、とてもよいふれあいの空間になっていると思います。	【項番177】のとおりです。
228	ラディアン (図書館)	ラディアンのリニューアルは、施設設備の老朽化やコロナ禍以降利用者減少に伴い必要性を感じます。基本設計(案)では児童コーナーの配置換えになっていますが、一般利用者との区別がされて子育てサポートの役割があるのでそのまま残して、元AVコーナー周辺に新聞・雑誌コーナーの他にTEのマンガを配置。奥の窓側に学習スペースを作り、ホテルのラウンジのようなゆったりくつろげる閲覧スペースにする。図書館に入館した印象を広々とくつろげる「居間」のようにするのはどうでしょうか。上記の意見が認められないのであれば…基本設計(案)の児童コーナーには「おはなしのへや」のような靴を脱いでくつろげておはなし会ができるように仕切りを作って欲しい。階段の書架ではなく子どもたちが楽しめる空間を作って欲しい。1階に親子トイレがないので、2階の多目的トイレをおむつ交換を付けて親子でも利用できるようにして欲しい。児童書や絵本の書架の配置、閲覧スペースは司書や利用者、読み聞かせボランティアの意見を聞いて欲しい。おはなし会のための小道具(パネルシアター・ペープサートなど)の収納スペースが欲しい。(現在はおはなしのへやにあります)雑誌・新聞・TEコーナーは、人々が入りたいと感じるような空間にして欲しい。これから先、図書館やラディアンを利用する人が増えるために、住民の税金や借金が無駄にならないようリニューアルを成功する上で、様々な意見があると思いますが、丁寧に聞いて欲しいです。	細部のご提案については、ご意見として賜りました。なお、2階の多目的トイレには現在もおむつ交換台が設置されています。
229	ラディアン (図書館)	自動貸出機を将来的に設置すると聞いていますが、どこに設置するのでしょうか。	自動貸出機の設置位置については、カウンター付近に設置を予定していますが、実施計画の策定に向けて、利用しやすく、また管理の面からも適切な位置を改めて検討していきます。
230	ラディアン (図書館)	図書館改修案について、現在のこどもの本の空間を廃止・転用する計画について反対します。この町の図書館の子どもの本の空間はこの町を見渡せる小さな山のように波にカラカラ小石の音する小さな浜辺のように温かな孤独を知る静けさと、心地の良い余白がある。そのような静かな美しさを守っている人たちのいるこの町はきっと良い町だろう、そう思って都内より移住してきたのは3年半前です。当時、移住を検討して、家族四人でいくつかの都市を訪れました。奥多摩、高尾、飯能、そして、二宮の町を訪ねた折に図書館の子どもの本コーナーに立ち寄りしました。エントランスを抜けるとその先に白い光に満たされた、光の井戸のような空間がありました。そこが子どもの本コーナーでした。そこは、幸せに満ちた空間でした。ずらりと並ぶ本は、少し胸を張っているかのように光の方に向き子どもにも大人にも媚びない凛とした雰囲気を持ち愛されている気配のようなものを纏いのびのびとした空間に溢れ出す生き生きとした生命感がありました。私は嬉しくなり、近くにいらしゃった司書さんといくつか会話をしました。そして、春から年中さんになる息子と一つの約束をしました。「ここにある絵本、全部読もう。」引越すことに不安を感じていた彼の目が、その時キラキラと輝いたことを覚えています。移住を決めたその時に交わした、大好きな息子との約束です。彼は今年小学2年生になりましたが、入学して間もなく発達性ディスレクシアという障害があることがわかり、まだ自分で本を読むことは困難です。それでも絵本が、物語が好きです。毎朝毎夜、2歳年上の兄と一緒に私を真ん中にして並び、3人で本を読みます。長く読み継がれてきた絵本、世界の昔話、科学絵本、季節のお話、伝記、詩、アート、図書館で出会った本なら何でも読みます。眠るまでの時間、目覚めるまでの時間、夢と現実の余白に語る物語は、機嫌の良い目覚めのための魔法です。3人で沢山の小さなトリップを繰り返して今年の春でようやく100冊となりました。図書館に来ると、本にいざなわれる様に一冊また一冊と手にとってしまい、毎週のように山ほどの本を抱えてカウンターへ行くうちに、司書さんとも仲良くなりました。「いつも素敵な本をたくさん借りられますね。」私は、息子との約束のお話をしました。そして、「おはなし会」を紹介していただき、去年から小学校や図書館のお話の部屋で本の読み聞かせをするようにもなりました。子どもの本コーナーの一番奥の「お話の部屋」は小上がりになっていて、大人の本の空間から最も離れた場所です。寝転んでも、ダダこねても、おしゃべりしても、楽しくなっちゃって声を出しても怪訝な顔をする人はいません。そこでは子どもたちも、そして一緒にいる大人たちも安心した顔で、お話を楽しむいつも通りの親子の姿を見ることが出来ます。幼い頃、安心した場所で、安心した環境で、大人たちから温かな本物の喜びを受け取る経験は、その先の長い人生を温め続けてくれるのではないかと考えます。2000年にオープンして以来、多くの人の想いによって育てられた奇跡のようなこの空間が、この先も続くことを願っています。この図書館のあり方は、二宮町の美意識だと思っています。	【項番177】のとおりです。
231	ラディアン (全体)	具体的に、誰のための図書館なのか不明瞭です。現在ラディアンエントランスホールの大きなテーブルのコーナーは、1日を通じて多くの利用がなされています。現在どのような人が利用しているかを知り、どのような場所が必要なのかを調査する必要があります。午前中は、ラディアンの施設の利用者のついで利用が見られます。集まりの前後の時間にちょっとした打合せや、小さな子どもを連れて軽食などを取りながら会話をしたり、その隣で新聞や本などを読む人の姿も見られます。午後の早い時間は、学校帰りの小学生がランドセルを下ろして一緒に宿題を助け、賑やかにしゃべりながら勉強していたり、お茶を飲んで休んだりしています。しばらくすると、一度帰宅した小学生もゲームやお菓子などを持って集まってきて、さらに賑やかな場所となります。16時前後くらいからは、中高生が集まり始め、賑やかに友達同士で課題をする人はヘッドホンなどしながら、一人で勉強に打ち込む姿も見られます。17時を過ぎて小学生が帰ると、図書館が閉館した後も人気のない少し薄暗い静かな空間で高校生以上の人たちが勉強をしたり語ったりと、ラディアンが閉館するまでの時間を楽しんでいます。様々な年代の人が、各々の目的のためにあるいは、目的もなく自由なくつろぎのスペースとして、時間帯によって住み分けがなされ、活気のあるエントランス空間となっています。この空間の活気は、図書館とガラスで仕切られていることで成立しています。もし、この仕切りが壁だったら、視覚的に閉鎖的な空間となりこのような開放的でおおらかな集まり方はなされなかったでしょう。しかし、このフィックスガラスを撤去すると、時間帯によっては賑やかになる空間は、図書館と干渉する事になります。視線はつながら、音は遮断するガラスが、このエントランス空間を豊かにしているのです。ガラスの向こうの子どもの本コーナーで一人で静かに本を読む小学生の姿もありますが、その子たちは、ガラスの向こうで集まる友達の姿を視界にいれながらも自分の本の世界に没頭しています。あるいは、雑誌コーナーでは自宅のリビングにいるように、ゆったりとソファに腰掛けて本や雑誌などを楽しむ高齢者の姿もあります。視覚的にその賑やかさを楽しみながらも、静かに過ごす時間を楽しむ人たちの居場所を奪う事になります。あるいは、賑やかに集まることに規制が入らざるおえない状況となるでしょう。	【項番177】のとおりです。
232	ラディアン (全体)	音の設計がなされていません。ホールと図書館を仕切るガラスが撤去されることで、高い天井のエントランス内に響く様々な音が、図書館に入ってくる。ホールで行われる定期的なイベントで多くの人が行き交い、会話する音が、図書館の騒音になる。全体的に騒音が図書館に行き渡り、静かに本と向き合う場所が失われている。子どもコーナーがカウンター前となることで、音が吹き抜けを通じて2Fに届き、クレームとなり、親が子どもに読み聞かせることもはばかれるようになります。1Fカウンターでの会話が、子どもコーナーと干渉するため、子どもが本に集中できない。	【項番177】のとおりです。また、現状では、ホール入口と図書館入口が対面となっており、音や混雑の課題がありますが、図書館入口を移動することを考えています。
233	ラディアン (全体)	動線計画が混乱しています。1Fカウンター→2Fへ続く階段という、メインの動線に子どもの本コーナーが据えられると、子どもや保護者は安心して絵本に集中できない。不特定多数の人が往来する場所に、小さな子どもだけにすることは防犯上、好ましくないため、常に大人が付き添っていなければならない。	動線については、書架の配置などにより混乱が生じないように工夫してまいります。なお、小さなお子様については、保護者の方と一緒に利用していただくことを想定しております。
234	ラディアン (全体)	防犯計画がなされていません。図書館閉館後にも図書館の書架が開放される計画に置いて、本の盗難についてはどのように考えているのか。本を守るという問題以前に、本来なら起こるはずのない盗みを促す事になりかねないのではないかと。図書館閉館後、監視の目がない場所に滞在可能で、そこに簡単に手に取り持ち帰ることのできる本が置かれ、その良心を試すようなことをすべきではない。	【項番212】のとおりです。
235	ラディアン (全体)	空調計画がなされていない。図書館とラディアンを区切るガラスを撤去すると、大きな一室空間となるが、その際の、空調計画はどうなっているのか。図書館閉館後の空調はどのように計画されているのか。	【項番176】のとおりです。
236	ラディアン (全体)	改修計画についての提案。新庁舎と向かい合い新たに正面となる場所に顔となる賑わいの空間を創出する。現在閉鎖されている既存の軒下空間もメインの動線とし、半屋外と連携して賑わい空間とする。図書館内に仕切りを新設し図書館閉館後も開放できるようにする。	賑わいの空間については、新庁舎北側を想定しています。東側軒下の活用も検討していきます。

No	区分	意見の概要	町の考え方
237	ラディアン (全体)	図書館を大改装せずとも書架の配置や少しの改装でワーキングスペースなどは作り出せる。	図書館は特定天井の改修も必要なため、今回併せてリニューアルすることとしました。
238	ラディアン (全体)	<p>子ども達が今後も、可能な範囲で自分達で考え工夫しながら、ラディアンを楽しんで使いつつ成長していかけてくれることを願い、意見を出させていただきます。この頃のラディアンモールの状況をご存じでしょうか？曜日によって、時間帯によって、様々な世代の方々が、楽しみながら共存しつつ、モールを使われています。特に子ども達は、花の丘公園はじめ駐車場北側のフリーなグラウンドスペース、モールも含め、時に応じてうまく使いつくしています。誰に教えられたわけではない、子ども達が自分達で作上げたラディアンの使い方なのではないかと思えます。リニューアル後も、子ども達がフリーに使える居場所として、維持していただけたらと思います。リニューアルをきっかけとして、図書館が子ども達にとって、更に居心地の良い場所となれるよう、いくつか提案をさせていただきます。</p> <p>1Fにも設置されるティーンズコーナーが、より多くの子ども達を図書館によびこむきっかけとなるよう、開かれたものとなればと思います。こどものほんコーナーは、0歳のお子さんから主に小学生まで利用されるので、安全であることが望まれます。奥のえほんコーナーは段差をなくし、広くくつをぬいであがれるコーナーとしてはどうでしょう。そして防音や、カウンターからも目が届くように、コーナーの壁は防音効果のある透明パネルにしてはどうでしょう。カウンター前の段床書架も安全性が高いとは言えないと思えますので、雑誌架を展示架としてそのまま利用し、その前側には可能な限り、今使われている物語や知識の本の書架を、設置していくのはどうでしょう。更に皆さまからお知恵をいただき、たくさんの良いアイデアを検討していただけることを願います。</p>	【項番177】のとおりです。